

名古屋キリスト教社会館

後援会だより

第 34 号

発行日；2022年8月15日

発行人；安藤 博之 編集人；谷川 修

〒457-0805 名古屋市南区三吉町 6-17

会長就任 あいさつ

会員の皆さん こんにちは

この度、後援会の会長をやらせて頂くことになりました安藤博之です。キリスト教社会館には20年程前から家族ぐるみでお世話になったおります「今度は、僕の方から・恩返しができる。」と思い決心しました。

社会館との出会いは、娘の弥々と葵々のお陰でした。二人の娘は、コルネリアゲンランデン症候群で生まれ、2～3才の頃から6才まで 南部地域療育センターそよ風に通園していました。そよ風には、潮干狩りや遠足、小那比など 色々な所に連れて行ってもらいましたが、付き添いの我々家族の方がはしゃいでいたのを思い出します。やがて、娘二人は“あそび虫クラブ”、デイACTを経験し、今は活動センターねーぶるで

お世話になっています。こうして我が家と社会館は赤い糸で結ばれてしまいました。



社会館の職員の皆さま

我々利用者は 皆様一人ひとりのことをとても感謝しています。笑いあったり、励まされたり、時には愚痴を聞いてもらったり・素晴らしい思い出をたくさん頂きありがとうございます。

私は後援会の会長として、社会館の応援と同様、職員の方々、利用者の方々の応援もしていきたいと思えます。世間知らずの私ですが、勉強しながら、もがきながら頑張っていきますので、今後とも後援会の活動にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。 会長 安藤 博之

2022 年度定期総会開催報告

6月18日(土)午後、菜の花保育園3階ホールにて、対面とオンライン併用で2022年度定期総会が開催されました。議案審議に先立ち、バイオリンのミニコンサートが取り組みました。演奏者は 福田 勝太さんという方です。

コロナの影響で演奏の機会が激減し、福祉施設の送迎を代行する事業所に就職、活動センターねーぶるの仲間の送迎をしてくれています。

プロの音楽家という事を知り、お願いすることになりました。リクエストにも応えて約20分

間、素晴らしい演奏を聞かせて頂きました。やはり、音楽は生が良いを実感したことでした。

総会議案では、前年度事業報告、決算、今年度事業方針、事業計画と2022～2023年度の役員案が審議され、発足以来会長を務めて頂いた岡村氏の後任として安藤氏が満場一致で会長に選任されました。岡村前会長は顧問としてご指導いただくことになりました。(事務局)



2021 年度決算 報告

支 出	776,894 円	収 入	1,507,389 円
総会費	15,000 円	会費収入	503,000 円
印刷、通信	68,990 円	事業収入等	90,908 円
振込手数料	10,586 円	利息収入	12 円
苦学生支援	348,000 円	苦学生支援	348,000 円
会議費	2,018 円	前期繰越金	565,469 円
事務人件費	120,000 円		
支部負担金	30,000 円		
社会館 60 募	100,000 円		
事業経費	82,300 円	次期繰越金	730,495 円

一編 集 後 記一

ロシアによるウクライナ侵攻、戦争が続いているのに、当初の脅威、憤り、不安感がすっかり抜けている平和ボケ！？終戦日を迎え、改めて戦争もたらす様々な負、平和の尊さをかみしめなければ。猛烈な感染力をもつコロナ第7波、緩められた人の営みは、簡単には自粛、規制に向かわない。自然災害も頻発、多くの向き合うべき課題に対しては、個は無力、集団の力こそが大事。それを、どう作り出すか (O,T)